

# ペンギンレポート



発行所  
市民フォーラム  
〒183-8703  
府中市宮西町2-24

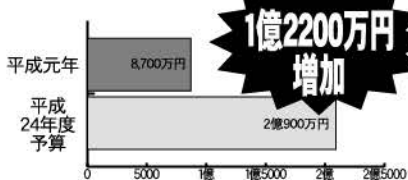
## 平成24年度一般会計予算

平成24年度一般会計予算案が、3月19日から26日までの予算特別委員会で審議され、28日の本会議において、可決、成立しました。私が質問しました中から、2つのテーマについて報告します。

### 1. 学校教育費

私の娘は、平成元年生まれで、この春、大学を卒業、就職し、一人暮らしを始めます。人が生まれ、一人前の人間に成長する・・・そのくらいの期間で事業を見たとき、果たして、多くの成果をあげられるほどに育っているのだろうか？と考えました。すると・・・

#### ①就学援助費



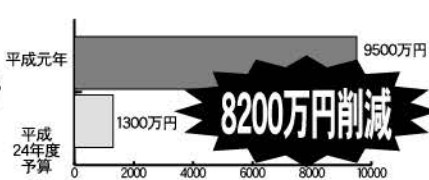
経済的に就学困難と認められる家庭に対する、学用品、給食等の援助費

#### ②学校ネットワーク事業費



平成16年開始。データベース、掲示板、メール配信などのネットワーク費用、保守点検費

#### ③教科用備品整備費



理科・算数等の教育機器やコピー機等の学校での備品購入費

長い経済不況の影響で①の就学援助費が、平成元年に比べて倍以上、1億2千万円も増加しています。また、②のネットワーク等の新規事業も必要となれば、当然、やりくりの結果、他の経費が削減されることとなります。③の数字をご覧ください。毎年、教科用備品整備費は数パーセントずつ削減されていますが、気がつくとは大幅な減額になっています。

### 教育にはお金を!

「どこを削ればいいのか」と、予算を前にして、多くの学校で聞かれた声です。

限られた予算ですが、教育の質を維持するためにも、**学校で使える予算を増やしたい**と考えます。

学校ネットワーク事業は、インターネットの普及、技術革新で、自前のデータベースを維持する必要性も希薄になってきています。また、校務支援ソフトは、年間10万円～20万円で購入でき、すでに市内の学校でも採用、校務に費やされる時間が短縮され、教師が子どもたちに向き合う時間も増えていると聞きます。そろそろ、**ネットワーク事業を見直すべき時期**が来ています。



### 2. 桜通り改修計画

交通バリアフリー法に基づき、バリアフリーの整備を進める道路として、桜通りが残ってしまいましたが、やっと、整備計画の策定について予算化されました。

#### Q なぜ、進まない?

**A** 桜まつりなど、市民にも、たいへん親しまれているが、桜の老木化、歩道の根上り、民地越境、自転車・自動車の通行障害、毛虫、落ち葉等の課題がある。桜の更新時期も到来しているが、**桜は同じ場所には育たない**という難問もあり、大規模整備となるため、なかなか進まなかった。

※樹木にも連作障害があり、どんなに土壌改良をしても、同じ場所に育たないことが、吉野山の桜の保存過程で分かってきました。

#### Q 今後の予定は?

**A** 市民・学識経験者からなる推進協議会を設置し、庁内検討会と並行して、25年までに計画を策定。その後、沿道権利者への説明の後、整備を始める。

### 府中市の財政

府中市の豊かさは、平和島競艇によるものだと改めて分かりました。この十数年は、厳しい家計をやりくりしてきた感じさえします。また、人件費、扶助費、物件費などの経常経費は限界近くまで増え、箱もの行政は、いまや昔…既存施設の維持管理という負の遺産が、大きくなっているのが現状です。

委員会では、「歳入に見合った歳出」と言う表現を多く聞きました。人口想定からも、今後は歳入が縮小するため、このままでは、行政サービスの低下に繋がります。もちろん、歳出抑制も重要ですが、もっと**歳入を増やすこと**(増税ではありません)を考えるべきです。人やお金を集める工夫をすること。これからの府中市には、平和島競艇に代わる**知恵が必要**となります。



# 指導者のあり方が問われる—中学校の武道必修化— 一般質問①

4月から、中学一・二年生の体育授業において、男女を問わず、武道が必修化されます。特に柔道は、これまでも、学校現場における死亡、後遺障害などの重大事故が多く報告されており、専門家の間でも、不安視されていますので、府中市の対応について質問しました。

Q 中学校における事故の状況は？

A	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度	
	死亡	後遺障害	死亡	後遺障害	死亡	後遺障害
全国の中学校	0 件	3 件	0 件	3 件	3 件	3 件
府中市内の中学校	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

※高校まで含めると、この28年間に114件の死亡事故が発生しています。

Q 柔道を選択したのはなぜ？

A 武道場、畳が整備され、教員にも指導経験があるので、11校中9校が柔道を選択している。

Q これまでの武道教育の実施状況は？

A 平成元年から、男女ともに選択履修に伴い、全員ではないが、学習している。

Q 柔道指導教員の資格と経験は？

A 男女合わせた保健体育科教員の40%が有段者で、63%が指導の経験がある。(都教育委員会の調査)

柔道は競技人口比で言いますと、他の競技の数倍も危険な競技であると言われていています。しかし、その重大事故の発生状況から特に投げ技の衝撃によるものが多いことが分かっています。「受け身」の衝撃に関する研究論文によりますと、未熟練者、未経験者は、「受け身」がうまく取れないため、**投げられた時の衝撃が熟練者より大きくなり、重大事故につながるそうです。**そのため、今回の必修化では、一年生や女子などの体力のない初心者が行うことに対する不安の声があります。日本の3倍もの競技人口を持つ**フランスでは、2005年以降18歳以下の死亡事故がない**そうです。指導者は、生理学、解剖学、救命方法など、380時間以上の講習が義務付けられた**国家資格**を必要としています。たとえ、競技者として優秀でも、この資格がないと指導できません。柔道の安全確保には、**指導者の質と指導方法がポイント**となりそうです。



Q これからの指導教員の研修は？

A 段階的に実技研修を行うが、起こしやすいけがや事故の概要、未然防止策、安全に配慮した指導について、医学的な知識も含め具体的な研修を行う。

Q 授業時間と実施時期は？

A 授業数は10時間が1校、8~12時間が8校、実施については、2学期の終わりからが2校、3学期から始めるのが7校

Q 「トリコフィトン・トズランス」対策等、衛生面の配慮は？

A 身体接触が多く、感染症に対する配慮が必要と考える。道着、畳の消毒、清掃をこまめに行う。

要望

- ① 指導方針の十分な検討と医学的知識を含めた研修と衛生面の配慮等の十分な準備。
- ② 武道の良さを知る機会ができたと同時に、その陰に重大事故も潜んでいるという認識のもと、くれぐれも事故のないよう、緊張感を持った安全な指導。
- ③ 専門医によると「生まれつき、首や脳の血管が細い生徒もいるので、気を失った経験がある生徒は、柔道を控えたほうがよい」とのことです。事前の問診などの健康チェック。

# 「たち」と「あゆの子」で発達支援を！ 一般質問②

府中市では、「都立多摩療育園」と「市立心身障害者福祉センター」の児童部門が児童発達支援センターに移行すると市長答弁でした。

児童発達支援センターを児童福祉法の下に設置するというねらいは、※①障害のあるなしに関わらず、18歳まで、包括的、継続的な支援を行うことに他なりません。しかし、府中市の取り組みでは、これまでの※②課題を解消することができないでしょう。**もう一步、踏み込む必要**があります。



立川市では、旧庁舎に子ども家庭支援センター、障害児の療育部門を集約し、さらに子育てひろば、一時預かりを統合して運営を始めます。

府中市でも、同様に子ども家庭支援センター「たち」と心身障害者福祉センターの療育部門「あゆの子」が**タッグを組み、さまざまな発達に関する課題に対応していくことが望まれます。**

※①発達を課題とする対象：身体障害、知的障害、発達障害、難病、高次脳機能障害、低出生体重など。

※②これまでの課題：ライフステージに応じ、多くの部署が対応するため、情報管理・連携が困難。



**山上みのる**

府中市議会議員 会派：市民フォーラム／民主党東京都府中市支部政策委員

事務所所在地 〒183-0056

東京都府中市寿町3-9-18-102

TEL・FAX 042-366-3543

E-mail yamagami\_229@nifty.com

URL <http://yamagami.a.la9.jp/>

郵便振替 00160-8-607854 (山上みのる後援会)

ご意見ご要望をお寄せ下さい。ご支援も宜しくお願ひします。